

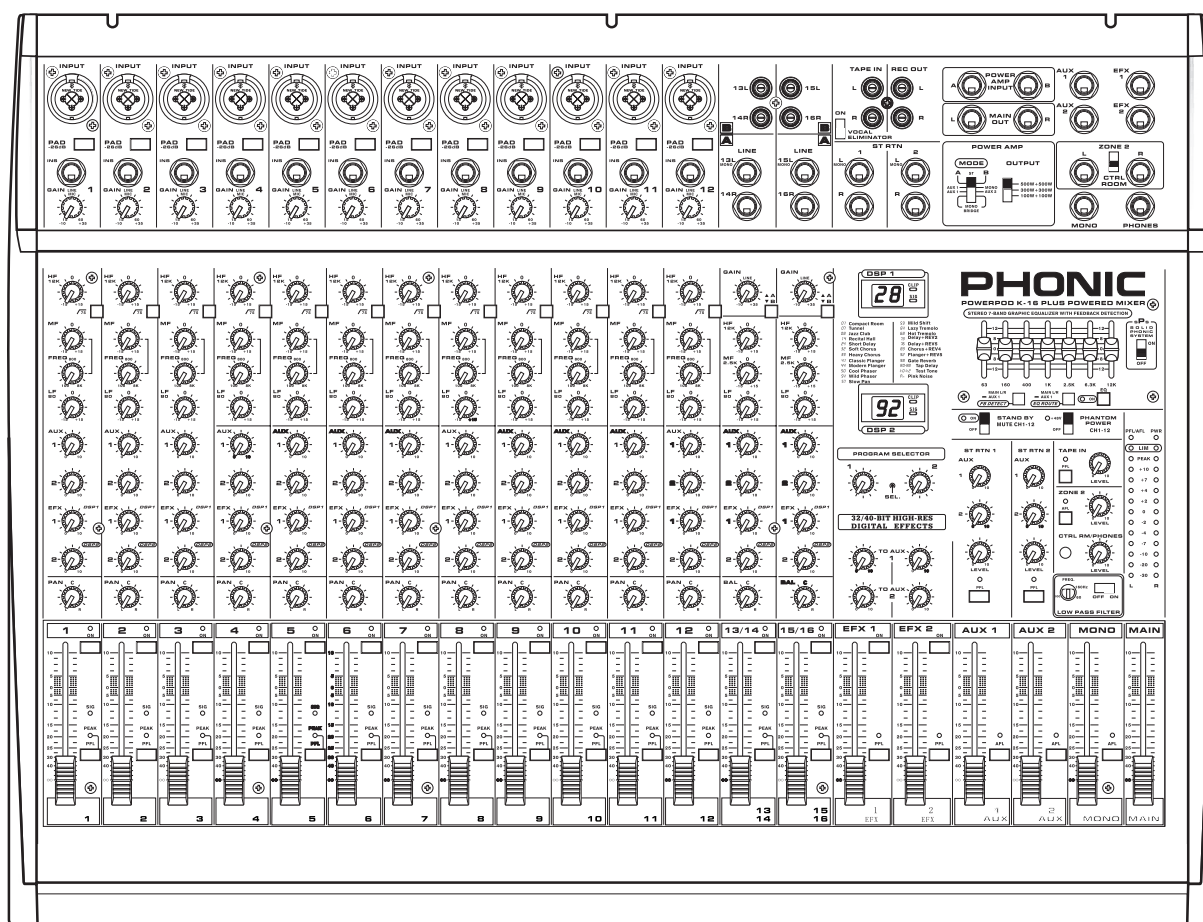
PHONIC

POWERPOD 1860 **PLUS**

POWERPOD K-12 **PLUS**

POWERPOD K-16 **PLUS**

POWERED MIXER



POWERPOD K-16 PLUS

取扱説明書

POWERPOD 1860

POWERPOD K-12

POWERPOD K-16

POWERED MIXER

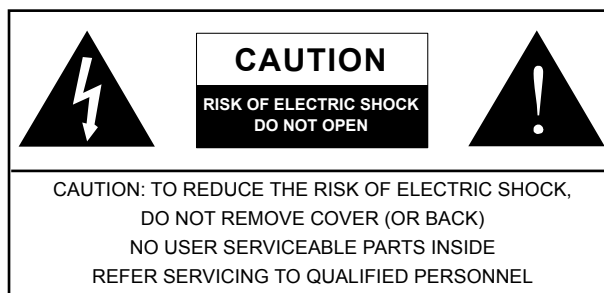
CONTENTS

基本性能	3
ご使用前の準備	3
ラックマウント(オプション)	4
保護用モールドカバー	4
機器の接続	5
チャンネル入力	5
マスターセクション	5
リアパネル	6
コントロール/設定	7
チャンネルコントロール	7
デジタルエフェクトプロセッサ	8
マスターセクション	9
仕様	11
デジタルエフェクト一覧表	13
接続例	14
寸法	16
ケーブルタイプ	17
ダイヤグラム	18

安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使われない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気が必要な機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様にご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

基本性能

- ・フットスイッチ(別売り)によりエフェクトのオン・オフとタップディレイの制御可能
- ・+48Vファンタム電源スイッチ
- ・3バンドイコライザーを備えた2系統のステレオ入力チャンネル
- ・テープ入力/レコード出力
- ・2系統のプリフェーダーAUXセンドおよび2系統のポストフェーダーEFXセンド
- ・7バンドステレオグラフィックイコライザー
- ・スタンバイ機能により、全マイクチャンネルをミュート可能
- ・周波数可変ローパスフィルター(60Hz~160Hz)を備えたモノラル出力
- ・フロントパネルの傷を防ぐモールドカバー

K-12PlusおよびK-16Plusのみ

- ・ブリッジ/パッチ可能な500W/4Ωパワーアンプ×2
- ・100種類のエフェクト、タップディレイ、および各種テストトーンを搭載したデュアルエフェクトプロセッサー
- ・フィードバック検出機能
- ・**K-12Plus:**
 - ・スイープ対応3バンド中域イコライザーとインサートを備えた、8系統のマイク/ライン入力チャンネル
- ・**K-16Plus:**
 - ・スイープ対応3バンド中域イコライザーとインサートを備えた、12系統のマイク/ライン入力チャンネル
 - ・ボーカル除去機能
 - ・Solid Phonic Systemスピーカーブースト

1860Plusのみ

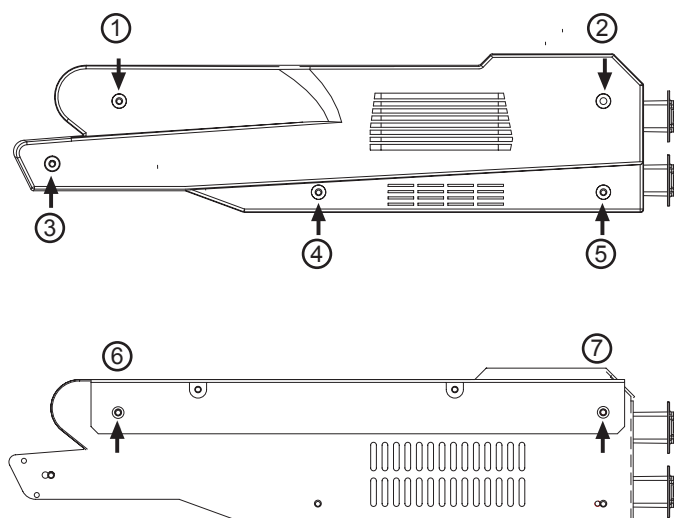
- ・ブリッジ/パッチ可能な400W/4Ωパワーアンプ×2
- ・100種類のエフェクト、タップディレイ、および各種テストトーンを搭載したシングルエフェクトプロセッサー
- ・3バンドイコライザーとインサートを備えた8系統のマイク/ライン入力チャンネル
- ・2段階設定のファンタム電源スイッチ

ご使用前の準備

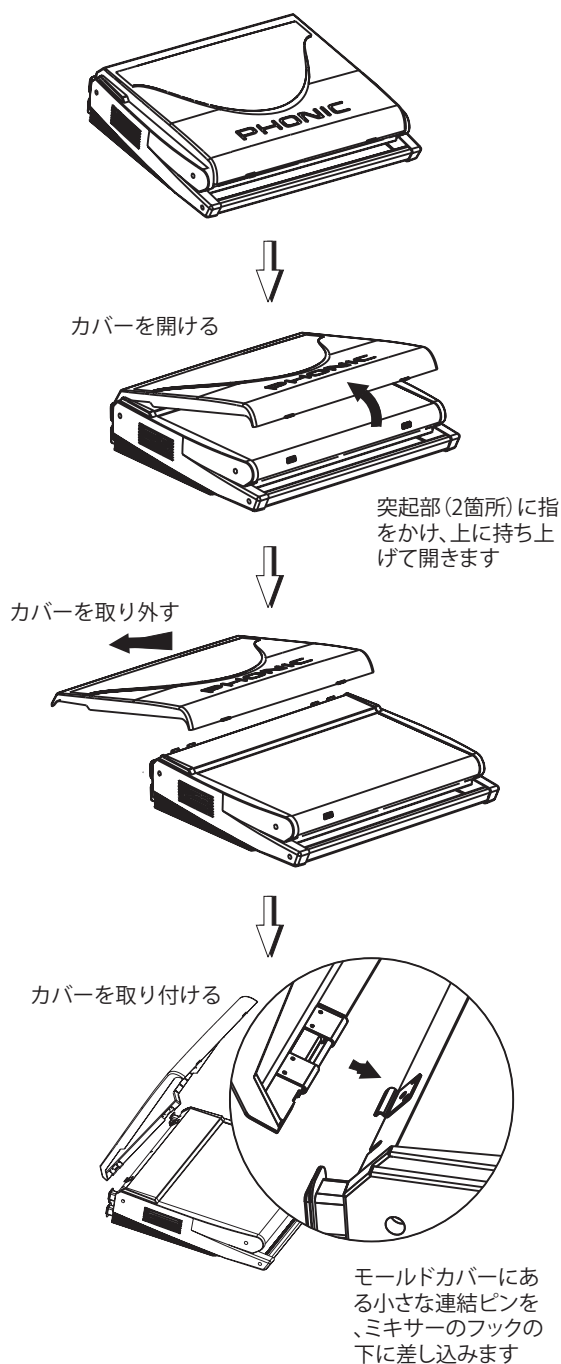
1. 本製品の電源がすべてオフになっていることを確認します。
2. フェーダーとレベル調整つまみを最小値にセットします。
注: 本体背面を壁から30cm以上離して設置してください。それ以上壁に近づけると冷却ファンの妨げとなり、本製品がオーバーヒートする原因となります。
3. 使用する楽器や入力機器を、本機器の各入力端子に接続します。
4. 使用する出力機器を本機器の各出力端子に接続します。
注: 本機器のアンプ出力には、スピーカー以外の機器を接続しないでください。スピーカー以外の不適切な機器を接続すると、それらの機器が損傷するおそれがあります。また、アンプ出力とスピーカーの接続にギター用ケーブルを使用しないでください。
5. 本製品に付属の電源ケーブルを本体背面のAC入力端子に差し込み、本機器の電源スイッチをオンにします。

ラックマウント(オプション)

1. K-12Plusおよび1860Plusは、ラックマウントキット (ER K-12Plus) を使ってラックに取り付けることができます。なお、これらのミキサーをラックに取り付けるには、13Uサイズのラックが必要です。
2. まずはじめに、取り付け先のラックが本製品を十分冷却できる構造になっているか確認してください。密閉されたラックは本製品がオーバーヒートするおそれがあります。オーバーヒート为了避免のため、本製品と他の機器との間に1Uサイズ以上のスペースを空けるようにしてください。
3. 本体両面にある①～⑤のネジを外し、サイドパネルを取り外します(下図参照)。
4. 下図に示すように両サイドの⑥～⑦のネジを締め、ラックマウントをミキサー本体に取り付けます。
5. 最後に、ラックマウントを装着したミキサーをラックに取り付けます。



保護用モールドカバー



機器の接続

チャンネル入力

K-12Plusおよび1860Plusには10系統の入力チャンネルが用意されており、うち2つはステレオ入力に対応しています。K-16Plusには14系統の入力チャンネルが用意されており、うち2つがステレオ入力チャンネルになっています。各機種2つのステレオチャンネルには複数の入力端子が用意されており、ステレオRCAプラグと1/4"フォンジャックの両方に対応しています。

1. XLR+1/4コンボジャック

このコンボジャックには、バランス/アンバランス信号用のXLRプラグおよび1/4"プラグを接続できます。コンデンサーマイクやダイナミックマイク、リボンマイクなど、標準のXLRオスコネクタを持つマイクを使用できます。また、バランス/アンバランス信号用の標準的な1/4"TRS/TSプラグも接続でき、キーボードやドラムマシン、エレキギターといった、ライン出力を持つ各種電子楽器を接続できます。

コンボジャックの下にあるPAD-26dBボタンを押すと、入力信号が26dB減衰します。本端子に外部機器のライン出力を接続するときのみ、このボタンをオンにしてください。

注: コンデンサーマイクをご使用頂く際は、ファンタム電源をご使用下さい。ファンタム電源を使用される場合は使われるマイクロフォンの仕様を十分に確認ください。不適切な使用をされた場合に機材が破損する恐れがあります。

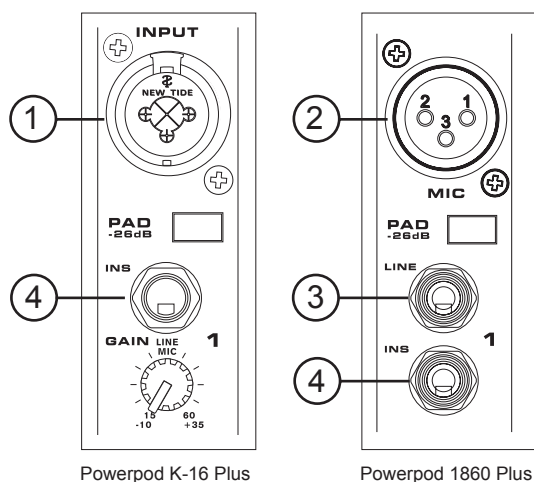
2. MIC入力 (Powerpod1860Plusのみ)

Powerpod1860Plusには、上記のコンボジャックは用意されていません。Powerpod1860Plusでは、XLRジャックと1/4"ジャックが別々に用意されています。このXLR MIC入力はバランス信号とアンバランス信号に対応しており、ダイナミックマイク、リボンマイクなど、標準のXLRオスコネクタを持つマイクを使用できます。

注: コンデンサーマイクをご使用頂く際は、ファンタム電源をご使用下さい。ファンタム電源を使用される場合は使われるマイクロフォンの仕様を十分に確認ください。不適切な使用をされた場合に機材が破損する恐れがあります。

3. LINE入力ジャック (Powerpod1860Plusのみ)

1/4"TRS/TSプラグを接続します。キーボードやドラムマシン、エレキギターといった、ライン出力を持つ各種電子楽器を接続できます。



4. INS (外部機器インサートジャック)

ダイナミックプロセッサーやイコライザーなどの外部機器を、該当するモノラル入力チャンネルに接続するのに使います。本端子を介して外部のプロセッサーと信号をやり取りするにはインサージョンケーブル(別売り)が必要です。

5. ステレオチャンネル入力

K-12Plus、K16、および1860Plusには、いずれも2系統のステレオ入力チャンネルが用意されています。ステレオRCA入力には、CDプレーヤーやMP3プレーヤー、ノートPCなどの各種デジタル機器を接続します。また、2つの1/4"TSジャックで構成されるLINE入力には、キーボードなどステレオライン出力を持つ機器を接続します。どちらのタイプの端子を使うかにより、ステレオA/Bボタンを正しく設定してください。

ステレオチャンネルにモノラル機器を接続したい場合は、外部機器の1/4"フォンジャックとステレオチャンネルのL (MONO) 端子を接続し、R端子には何も接続しないで下さい。L側に入力された信号がR側の入力にも反映されます。

マスターセクション

6. TAPE IN (L/R)

メインの端子には、RCAケーブルを使用してMP3、CDプレーヤーなどを接続できます。また、ミニディスク (MD) やポータブルCD、Apple iPodなどのMP3プレーヤーやノートPCなどを接続するためのミニステレオ端子が用意されています。本端子の入力はTAPE INミキシングバスにつながっており、そこからMAIN L/Rミキシングバスに信号が送られます。

7. VOCAL ELIMINATOR (K-16Plusのみ)

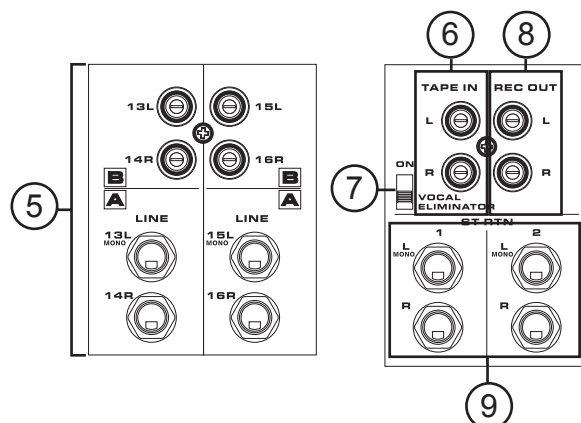
VOCAL ELIMINATORスイッチはPowerpodK-16Plusにのみ用意されており、TAPE IN端子に入力される信号 (MP3、CDプレーヤーなどの入力機器からの信号) のボーカル周波数の位相をキャンセルして効果的に除去することができます。(ボーカルエリミネーター機能)

8. REC OUT L/R

TAPE IN端子と同様に、本端子にRCAケーブルを接続して各種録音装置に信号を送ることができます。また、本出力にはミニステレオ端子が用意されており、CDプレーヤーやノートPCを接続することができます。

9. ST RTN入力

このTS端子には、ミキサーや外部のエフェクトプロセッサーなど、本製品と並列で動かす外部機器を接続できます。それらの外部機器で処理された信号は、本端子に入力された後、AUX 1、AUX 2、MAIN L/Rの各ミキシングバスに送られます。また、ST RTNチャンネルにモノラル機器を接続したい場合は、外部機器の1/4インチフォンジャックとST RTNチャンネルのL (MONO) 端子を接続し、R端子には何も接続せずにそのままにします。



10. POWER AMP INPUT

1/4"TSプラグを接続して、外部機器からのステレオライン信号を内蔵パワーアンプに入力することができます。POWER AMP INPUTに外部機器が接続されると、POWER AMPコントロールスイッチで選択されたメイン信号が自動的にバイパスされ、POWER AMP INPUTよりインサートされた信号がアンプで増幅されてSPEAKERS出力に送られます。

11. MAIN OUT

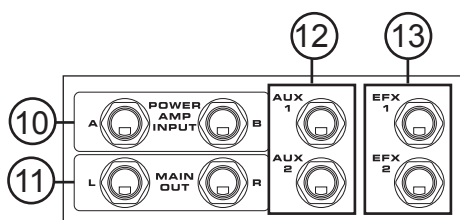
MAINミキシングバスからの最終的なステレオライン信号が出力されます。

12. AUX出力

該当するAUXミキシングバスからのライン信号が出力されます。

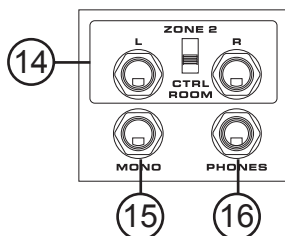
13. EFX出力

EFXセンドミキシングバスからの信号が出力されます。外部のデジタルエフェクトプロセッサを接続したり、アンプやスピーカーなど、目的とするセッティングに応じた機器を接続したりする際に使用します。



14. CTRL ROOM/ZONE 2出力 (切り替えスイッチ付き)

CTRL ROOMまたはZONE 2コントロールパネルからの信号が出力されます。本端子への出力号をCTRL RM/PHONESつまみからの信号にするか、ZONE 2つまみからの信号にするかを切り替えます。ZONE 2信号は、室内でメインスピーカーの音声が届かない場所に音声を供給するサイドフィルへの出力に最適です。CTRL ROOM信号は、ブース内のアクティブモニターへの出力として使用可能です。



15. MONO出力

MAINミキシングパネルのMONOミキシングフェーダーからの信号が出力されます。

16. PHONES出力

ヘッドフォンを接続してミキサー出力をモニターすることが出来ます。CTRL RM/PHONESつまみで本出力の音声レベルを調整できます。

リアパネル

17. 12V LAMP

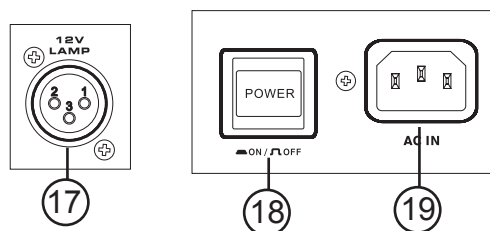
12V (7W) のゲースネックランプ(別売り)を接続すれば、薄暗い場所でもミキサーが見えやすくなります。

18. POWERボタン

本製品の電源のオン・オフを行います。

19. AC IN (電源コネクタ)

付属の電源ケーブルを差し込みます。必ず付属の電源ケーブルをお使い下さい。



20. SPEAKERS出力

内蔵パワーアンプの信号をスピーカーに出力するのに使います。メインの端子はSpeakonコネクタです。サブの端子は1/4"フォンジャックで、1/4"TSプラグを挿入すれば信号を出力することができます。本端子に接続するスピーカーの負荷は、1チャンネルあたり4Ω以下 (ブリッジモノラル接続の場合は8Ω以下) としてください。

1チャンネルあたり1台のスピーカー:

各チャンネルのSPEAKERS出力に1台ずつスピーカーを接続する場合、4~8Ωの負荷を持つスピーカーをお使いください。この条件は、フォンジャックと業務用スピーカーコネクタのいずれにも適用されます。

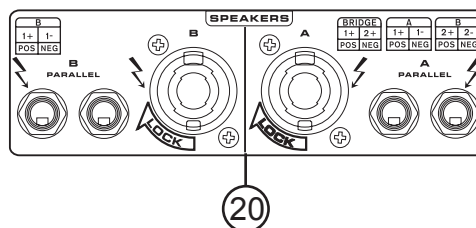
1チャンネルあたり2台のスピーカー:

SPEAKERS出力に2台ずつスピーカーを接続する場合、8~16Ωの負荷を持つスピーカーをお使いください (8Ωのスピーカーを2台接続すると合成負荷が4Ωになり、16Ωのスピーカーを2台接続すると合成負荷が8Ωになるため)。

ブリッジモノラル接続の場合:

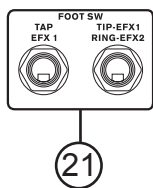
ブリッジモノラルモードで使用する場合、必ずPROFESSIONAL SPEAKER Aのみを使用してください。合成負荷は8Ω以下としてください。

注: 機器の損傷を防ぐため、パッシブスピーカー以外は接続しないでください。



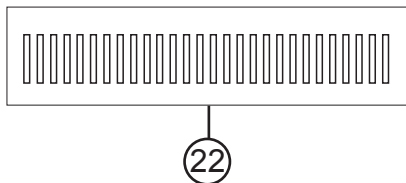
21. FOOT SWジャック

内蔵デジタルエフェクトプロセッサの状態を切り替えるためのフットスイッチ(別売り)を接続します。左のジャックはタップディレイを設定するのに使います。右のジャックはデジタルエフェクトをオン・オフするのに使います。(これらのジャックは、K-12PlusおよびK-16Plusではデジタルエフェクトプロセッサ2の設定に使用します)



22. ファン

本体冷却用のスピード可変ファンです。オーバーヒートの原因となりますので、通風孔は絶対にふさがらないでください。



コントロール/設定

チャンネルコントロール

23. GAINコントロール

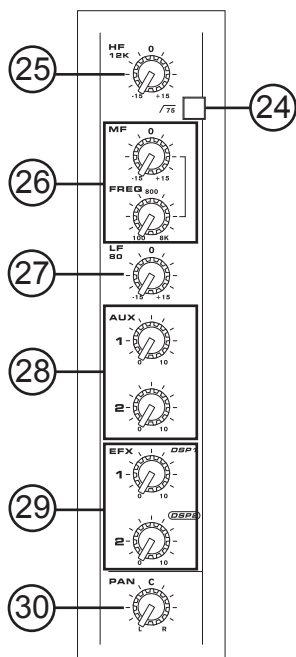
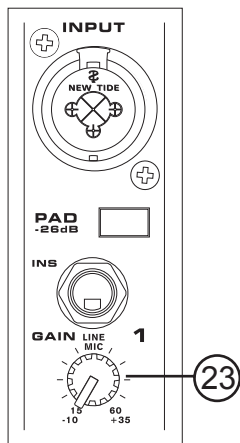
該当するチャンネルに入力される信号感度を調整します。PEAKインジケータが時々点灯する程度に入力レベルを調整してください。

24. ハイパスフィルター (75Hz)

75Hz以下の周波数帯域を18dB/octの割合で減衰させるハイパスフィルターが作動します。

25. HF 12Kコントロール

高音域 (12kHz) を±15dBの範囲でブースト/カットします。



26. MF/FREQコントロール

中音域を±15dBの範囲でブースト/カットします。K-12PlusとK-16Plusのモノラルチャンネルにはスイープつまみも用意されており、中心周波数を100Hzから8kHzの範囲で設定できます。1860Plusのすべてのチャンネル及びK-12PlusとK-16Plusのステレオチャンネルの中心周波数は2.5kHzに固定されています。

27. LF 20コントロール

低音域 (80Hz) を±15dBの範囲でブースト/カットします。

28. AUX 1/2コントロール

AUX 1/2ミキシングバスに送られる信号のレベルを調整します。

29. EFX 1/2コントロール

EFX 1/2出力に送られる信号のレベルを調整します。EFX 1/2出力は、外部のシグナルプロセッサを接続する際に使用します。また、EFX 1/2つまみにて内蔵デジタルエフェクターに送られる信号レベルを調整します。(Powerpod1860では、EFX 2つまみで内蔵デジタルエフェクターに送られる信号レベルを調整します)

30. PAN/BAL

メインミックスのLとRに入力される音声レベルの左右のバランスを調整します。モノラルチャンネルでは、PANつまみでLとRに入力される音声レベルを調整できます。ステレオチャンネルでは、BALつまみの回転に合わせてLまたはRの音声レベルを調整します。(バランス)

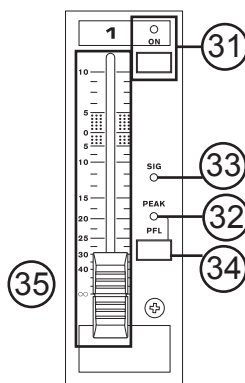
31. ONボタン (インジケータ付き)

ONボタンを押すと該当チャンネルの入力が有効になり、MAIN L/R、MONO、AUX 1/2、EFX 1/2バスに入力信号を供給できるようになります。またONボタンがオンのときは、該当チャンネルのインジケータが点灯します。

チャンネルがオフのときでも、PFLボタンを押すことによりそのチャンネルの音声信号がCTRL RM/PHONESミキシングバスに送られ、そのチャンネルの音声をモニターすることができます。

32. PEAKインジケータ

入力信号がピークに達し、オーバーロードの6dB手前になったとき点灯します。最適な状態を得るために、PEAKインジケータが定期的に点灯するように該当チャンネルのLEVELつまみを調整してください。



33. SIGインジケータ

入力レベルが-20dBuに達したときに点灯します。

34. PFLボタン(インジケータ付き)

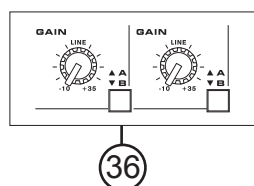
PFL (プリフェーダーリッスン) ボタンを押すと、該当チャンネルの信号がCTRL RM/PHONESつまみ(プリフェーダー、ポストイコライザー)に送られ、その信号をヘッドフォンやスタジオモニターで使えるようになります。PFLボタンがオンのとき、ボタンに対応する緑のインジケータが点灯します。

35. チャンネルレベルフェーダー

該当チャンネルからメインミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。

36. ステレオチャンネルA/Bボタン

このボタンが押されていないとき、該当するステレオチャンネルは1/4" フォン端子から信号を入力します。ボタンが押されているときはステレオRCA端子から信号を入力します。

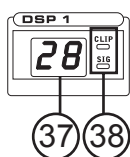


デジタルエフェクトプロセッサ

K-12PlusおよびK-16Plusでは2系統のエフェクトチャンネルが用意されています。1860では1系統のみ用意されています。

37. デジタルエフェクトディスプレイ

エフェクト信号に適用されているプログラム番号が、2桁の数字で表示されます。PROGRAMつまみを回すことでプログラム番号をスクロール表示できます。ただし、数秒以内に新しいプログラム番号を選択しないと元のプログラム番号に戻ります。利用可能なエフェクトについては、デジタルエフェクト一覧表をご覧ください。

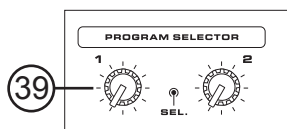


38. SIG/CLIPインジケータ

デジタルエフェクトディスプレイ内には、CLIPおよびSIGインジケータが用意されています。エフェクトプロセッサから信号が送られるとSIGインジケータが点灯します。エフェクト信号レベルが高すぎて強制的にクリップされる直前にCLIPインジケータが点灯します。CLIPインジケータが頻繁に点灯する場合は、EFXマスタつまみにてレベルを調整してください。

39. PROGRAMコントロール

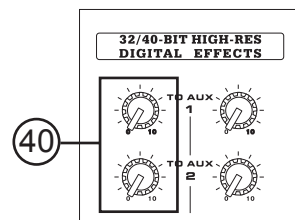
このつまみを回すと、各種エフェクトをスクロール表示できます。プログラムを変更すると、つまみを押して新しいエフェクトが確定されるまで小さなインジケータが点滅します。タップディレイエフェクトが選択されているときにPROGRAMつまみを押すと、タップディレイ時間の選択モードになります。



PROGRAMつまみを押してから次につまみを押すまでの間隔が、タップディレイ時間として設定されます。何度も押しなおしが可能で、最後の2回の間隔がディレイ時間として適用されます。この時間は、次につまみが押されるまで保持されます。(電源オフ後も保持されます)タップディレイ時間が設定されると、デジタルエフェクトディスプレイ枠内の小さなインジケータ(2つの数字表示の間にあるインジケータ)が、設定された時間間隔で点滅します。利用可能なプログラムについては、デジタルエフェクト一覧表をご覧ください。

40. TO AUX 1/2コントロール

デジタルエフェクトプロセッサからAUXミックスに送られる信号レベルを調整します。



41. DSPエフェクトONボタン(インジケータ付き)

該当するエフェクトパネルをオン・オフします。エフェクトプロセッサをオンにすると、DSPエフェクトONボタンに対応するLEDが点灯します。

42. PEAKインジケータ

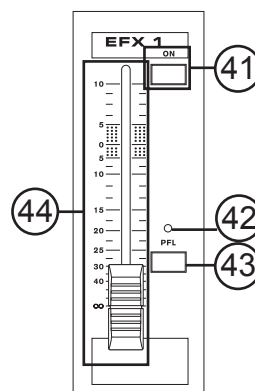
デジタルエフェクトプロセッサの信号がオーバーロードしたとき点灯します。最適な状態を得るために、PEAKインジケータが点灯しないようにEFX1/2つまみを調整してください。

43. PFLボタン(インジケータ付き)

このPFL (プリフェーダーリッスン) ボタンを押すと、デジタルエフェクトプロセッサの信号がCTRL RM/PHONESつまみ(プリフェーダー)に送られ、ヘッドフォンやスタジオモニターで使えるようになります。PFLボタンをオンにすると、緑のインジケータが点灯します。

44. DSPエフェクト 1/2フェーダー

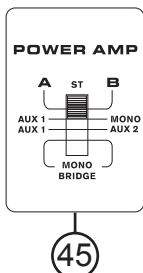
該当するデジタルエフェクトプロセッサからメインミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。



マスターセクション

45. POWER AMPコントロールスイッチ

パワーアンプの動作と出力電力を切り替えます。左側のスイッチを使うと、内蔵パワーアンプからSPEAKERS出力に送られる信号を切り替えることができます。ステレオ（出力のレベルをMAIN L/Rフェーダーで調整するモード）、AUX 1/MONO（出力のレベルをAUX 1/MONOフェーダーで調整するモード）、AUX 1/AUX 2（出力のレベルをAUX 1/2フェーダーで調整するモード）、MONO BRIDGE（MONOフェーダーで音量調整された信号がスピーカー出力Aからのみ出力されるモード）から選択できます。



注: ブリッジモノラル接続する場合、本体背面にある1/4"フォンジャックまたは業務用スピーカージャックBにスピーカーを接続しないでください。

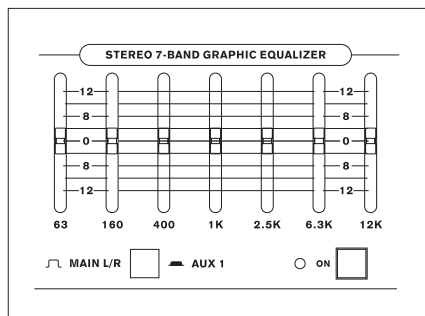
右側のスイッチを使うと、各チャンネルのアンプ電力を100W、300W、500Wから選択することができます。会場の広さやスピーカーの容量によって切り替えてください。これはK-12PlusおよびK-16Plusにのみ用意されている機能で、Powerpod 1860Plusにはありません。

46. Solid Phonic System (K-16Plusのみ)

高域/低域の周波数成分を強調します。

47. グラフィックイコライザー

各周波数帯域を±12dBの範囲で調整することができます。MAIN L/R/AUX 1ボタンにより、イコライズの対象をAUX 1バス信号とMAIN L/Rバス信号の間で切り替えることができます。MAIN L/Rを選択すると、メインのステレオ信号（MAIN L/RおよびSPEAKERS出力）だけでなく、モノラル信号にもイコライザーが適用されます。



Powerpod 1860 Plus

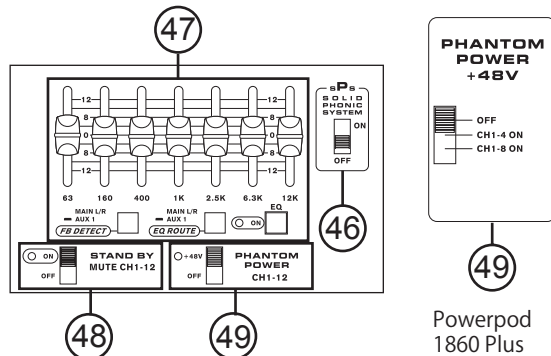
Powerpod K-12Plus/K-16Plusの特徴として、フィードバック検出機能があります。ある周波数帯域でフィードバックが発生すると、イコライザーのスライドボリュームつまみの上にあるLEDが点灯します。イコライザーでその周波数帯域のレベルを下げることで、効果的にフィードバックを除去することができます。フィードバックが解消されると、LEDが消灯します。フィードバック検出機能は、FB DETECTボタンがオンのときはAUX 1の出力に作用し、ボタンがオフのときはMAIN L/R信号に対して作用します。MAIN L/R/AUX 1ボタンとFB DETECTボタンは同じ設定にすることをお勧めします。そうすれば、フィードバックが発生した周波数帯域の調整が簡単になります。

48. STAND-BYスイッチ (インジケータ付き)

チャンネル1から15/16 (K-16Plusの場合) またはチャンネル1から11/12 (K-12Plusおよび1860Plusの場合) のミュートをオン・オフします。STAND-BYスイッチでチャンネルをミュートしてもTAPE INやステレオAUX RTN入力はミュートになりません。STAND-BYスイッチをオンにするとインジケータが点灯します。

49. PHANTOM POWERスイッチ

チャンネル1から8 (K-12Plusの場合) またはチャンネル1から12 (K-16Plusの場合) に+48Vファンタム電源が供給されます。これにより、マイク入力にてコンデンサーマイクが使用可能になります。また、PHANTOM POWERスイッチをオンにするとLEDが点灯します。Powerpod 1860Plusでは、PHANTOM POWERスイッチは3つのポジションがあり、チャンネル1〜8、チャンネル1〜4、および全チャンネルオフのいずれかを選択できます。

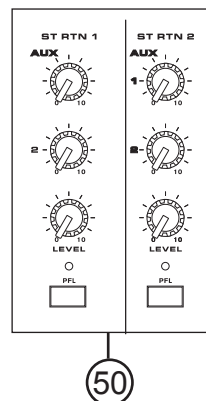


Powerpod 1860 Plus

50. ST RTNコントロール

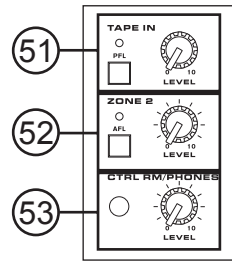
ST RTN端子に入力される音声のレベルを調整します。これらは、AUXミキシングバスへの信号を調整する2つのAUXレベルつまみと、MAINミキシングバスへの信号を調整するLEVELつまみで構成されています。

PFL (プリフェーダーリッスン) ボタンを押すと、対応するST RTNチャンネルの入力信号がCTRL RM/PHONESつまみに直接送られます。（このとき、つまみの設定は反映されません）また、PFLボタンを押すとLEDが点灯します。



51. TAPE INコントロール

TAPE INからメインミックスに送られる信号のレベルを調整します。PFL (プリフェーダーリッスン) ボタンを押すと、TAPE IN入力信号がCTRL RM/PHONESつまみに送られます。このとき、TAPE INつまみの設定はPFL/AFL/パスへの信号には反映されません。



52. ZONE 2コントロール

ZONE 2信号 (MAIN L/Rミックスから分岐してZONE 2出力に送られる信号) のレベルを調整します。AFL (アフターフェーダーリッスン) ボタンを押すと、ZONE 2信号がCTRL RM/PHONESつまみに送られます。また、AFLボタンを押すとLEDが点灯します。

53. CTRL RM/PHONESコントロール

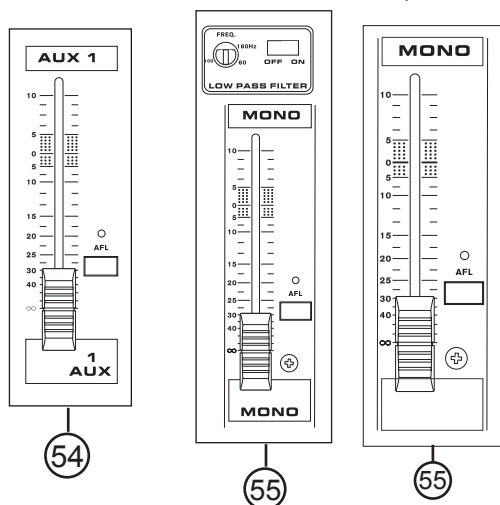
CTRL RM/PHONES出力に送られる信号のレベルを調整します。PFL信号はPFL以外のすべての信号に優先し、また、複数のPFL信号を同時に出力することができます。PFLボタンがオフのときは、AFL信号が優先されます。(AFL信号も複数同時に出力可能です) PFLボタンもAFLボタンもオフのときは、MAIN L/Rミックス信号が使われます。

コントロールルーム/フォン信号の優先順位

優先順位	信号
高	PFL
中	AFL
低	MAIN L/R

54. AUX 1/2フェーダー

AUX出力に送られる信号のレベルを調整します。AUX出力は、必要に応じてフロアモニターや外部のプロセッサを接続するのに適しています。AFL (アフターフェーダーリッスン) ボタンを押すと、対応するフェーダーでレベル調整された後のAUXミキシングバス信号がCTRL RM/PHONESに送られます。また、AFLボタンを押すとLEDが点灯します。



Powerpod 1860 Plus

55. MONO出力フェーダー

MONO出力ジャックに送られる信号レベルを調整します。AFL (アフターフェーダーリッスン) ボタンを押すと、モノラル音声のポストフェーダー信号がCTRL RM/PHONESつまみに送られます。

また、MONO出力フェーダーに付属のLOW PASS FILTERつまみを使うと、高音域を18dB/octでカットできます。このスイッチでフィルターをオン・オフし、隣つまみを使ってカットオフ周波数を60Hzから160Hzの間で調整します。なお、ローパスフィルターは1860Plusには用意されていません。

56. マスターレベルフェーダー

内蔵パワーアンプおよび各出力に送られるMAIN L/R信号レベルを調整します。

57. PWRインジケータ

本製品の電源がオンのとき点灯します。

58. PFL/AFLインジケータ

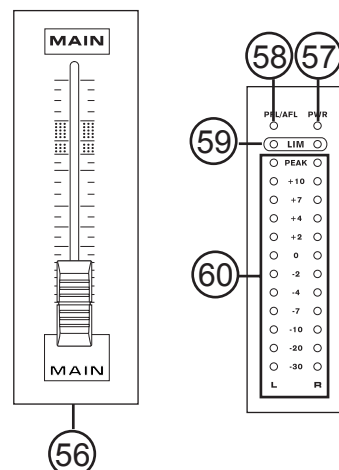
レベルメーターの上にあるPFL/AFLインジケータは、PFLスイッチがオンのとき緑に点灯し、AFLスイッチがオンのとき赤に点灯します。AFLよりPFLが優先されるため、AFLとPFLが同時にオンになっている場合は、PFLインジケータが緑に点灯します。

59. LIMインジケータ

パワーアンプの信号レベルが高くなりすぎるとリミッターが作動し、LIMインジケータを点灯させてオーバーロードの可能性を知らせます。LIMインジケータが頻繁に点灯する場合は、POWER AMPコントロールスイッチで選択したパワーアンプ音源のレベル調整コントロールつまみで、適切な状態に調整して下さい。

60. ステレオレベルメーター

ステレオMAIN L/R出力のレベルが視覚的に表示されます。各チャンネルの12セグメントレベルメーターは、緑、黄、赤のLEDおよびPEAKインジケータで構成されており、-30dBu〜+10dBuの範囲でレベルが表示されます。また、PFLまたはAFLボタンがオンの場合も、通常時と同様に各信号レベルが表示されます。



仕様

	POWERPOD K-12 Plus	POWERPOD K-16 Plus	POWERPOD 1860 Plus
パワーアンプ (出力単位: W @ THD<0.5%, 1 kHz)			
パワーアンプ出力チャンネル数	2	2	2
リミッター	2	2	2
チャンネル別8Ω出力	330	330	260
チャンネル別4Ω出力	500	500	400
8Ωブリッジモノラル出力	1000	1000	800
パワーアンプセレクトスイッチ	500W+500W,300W+300W, 100W+100W	500W+500W,300W+300W, 100W+100W	なし
入力			
全チャンネル数	10	14	10
バランスモノラルマイク/ラインチャンネル	8 (XLR + 1/4"コンボジャック)	12 (XLR + 1/4"コンボジャック)	12 (XLR + 1/4"コンボジャック)
ステレオラインチャンネル (マイクプリアンプ付き)	2 (XLR & 2×1/4")	2 (XLR & 2×1/4")	2 (XLR & 2×1/4")
ステレオAUXリターン	2	2	2
2T入力	1 (ミニステレオ×1, RCAジャック×2)	1 (ミニステレオ×1, RCAジャック×2)	1 (ミニステレオ×1, RCAジャック×2)
出力			
メインL/Rステレオ	アンバランスタイプ2×1/4"TS	アンバランスタイプ2×1/4"TRS	アンバランスタイプ2×1/4"TS
メインモノラル	アンバランスタイプ1/4"TS	アンバランスタイプ1/4"TRS	アンバランスタイプ1/4"TS
Auxセンド&EFXセンド	アンバランスタイプ、4×1/4"TS	アンバランスタイプ、4×1/4"TRS	アンバランスタイプ、4×1/4"TS
フォン出力	1	1	1
コントロールルーム/ゾーン2出力	アンバランスタイプ、2×1/4"TS	アンバランスタイプ、2×1/4"TRS	アンバランスタイプ、2×1/4"TS
REC OUT	(ミニステレオ×1, RCAジャック×2)	(ミニステレオ×1, RCAジャック×2)	(ミニステレオ×1, RCAジャック×2)
スピーカー出力	スピコン×1, 2×1/4"TS (1Chあたり)	スピコン×1, 2×1/4"TRS (1Chあたり)	スピコン×1, 2×1/4"TS (1Chあたり)
チャンネルストリップ	10	14	10
AUX調整	4	4	4
パン/バランス調整	あり	あり	あり
チャンネルオン/ミュート	あり	あり	あり
チャンネルソロ/PFL (メーター付き)	あり	あり	あり
LEDインジケーター	ON、PEAK、SIGNAL、PFL	ON、PEAK、SIGNAL、PFL	ON、PEAK、SIGNAL、PFL
ボリューム調整	60mmフェーダー	60mmフェーダー	60mmフェーダー
インサート端子	あり	あり	あり
マスターセクション			
AUXセンドマスター	2、60mmフェーダー	2、60mmフェーダー	2、60mmフェーダー
モニター用エフェクトリターン	4	4	3
フォン/コントロールルーム/ゾーン2レベル調整	あり	あり	あり
コントロールルームモード	ステレオ、PFL/AFL	ステレオ、PFL/AFL	ステレオ、PFL/AFL
フェーダー	EFX×2、AUX1、AUX 2、MONO、MAIN L/R (60mmフェーダー)	EFX×2、AUX1、AUX 2、MONO、MAIN L/R (60mmフェーダー)	EFX×2、AUX1、AUX 2、MONO、MAIN L/R (60mmフェーダー)
メーター			
チャンネル数	2	2	2
セグメント	13	13	13
ファンタム電源	+48 V	+48 V	+48 V
スイッチ	マスター+10	マスター+14	マスター+10

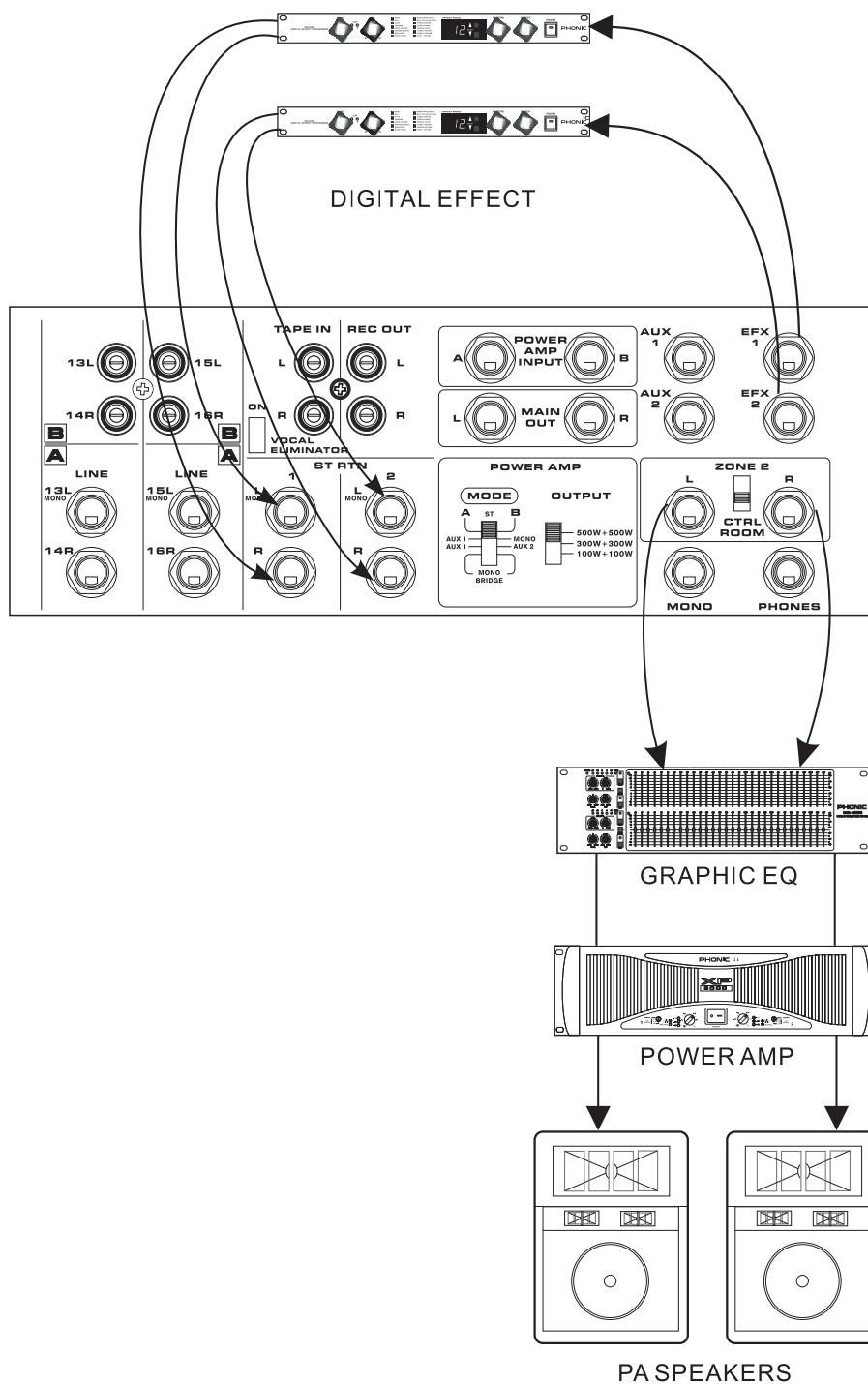
THD			
パワーアンプ出力、1 kHz、20 Hz ～20 kHz	@250W、4Ω<0.5%	@250W、4Ω<0.5%	@250W、4Ω<0.5%
全出力、1 kHz @ +14 dBu、20 Hz ～20 kHz、チャンネル入力	<0.3%	<0.3%	<0.3%
CMRR			
(1kHz @ -60 dBu、ゲイン最大)	80 dB	80 dB	80 dB
クロストーク			
(1kHz@0dBu、帯域幅20Hz～ 20kHz、チャンネル入力・メイン L/R出力間)			
測定チャンネル@フェーダー絞り 切り、他のチャンネル@ユニティ	<-63 dB	<-63 dB	<-63 dB
測定チャンネル@ミュート、他の チャンネル@ユニティ	<-64 dB	<-64 dB	<-64 dB
周波数応答 (マイク入力・出力 間)			
20 Hz ～ 20 kHz、ラインレベル 出力 @ +4dBu (負荷600 Ω)	+0/-2 dB	+0/-2 dB	+0/-2 dB
20 Hz ～ 20 kHz、パワーアンプ出 力 @ 1 W (負荷8 Ω)	+0/-2 dB	+0/-2 dB	+0/-2 dB
最大レベル			
マイクプリアンプ入力	+10 dBu	+10 dBu	+10 dBu
他の入力	+22 dBu	+22 dBu	+22 dBu
アンバランス出力	+22 dBu	+22 dBu	+22 dBu
インピーダンス			
マイク入力	5K Ω	5K Ω	5K Ω
ライン入力	50K Ω	50K Ω	50K Ω
他の入力 (インサートを除く)	10K Ω	10K Ω	10K Ω
RCA 2T出力	600 Ω	600 Ω	600 Ω
その他の出力	150 Ω	150 Ω	150 Ω
イコライザー	3 バンド、±15 dB	3 バンド、±15 dB	3 バンド、±15 dB
LOW EQ	80Hz	80Hz	80Hz
MID EQ	100～8K Hz、スワイプ可	100～8K Hz、スワイプ可	2.5 KHz
MID 2nd EQ (ステレオチャンネル)	2.5 KHz	2.5 KHz	2.5 KHz
HIGH EQ	12 KHz	12 KHz	12 KHz
ローカットフィルター	75Hz (-18dB/oct)	75Hz (-18dB/oct)	75Hz (-18dB/oct)
マイクプリアンプE.I.N.			
終端150Ω、ゲイン最大	<-122 dBm	<-122 dBm	<-122 dBm
重量	14.5 Kg	19.5 Kg	14.3 Kg
サイズ (W×H×D)	483 x 142.6 x 466.2 mm	583.2 x 142.6 x 466.2 mm	483 x 142.6 x 466.2 mm

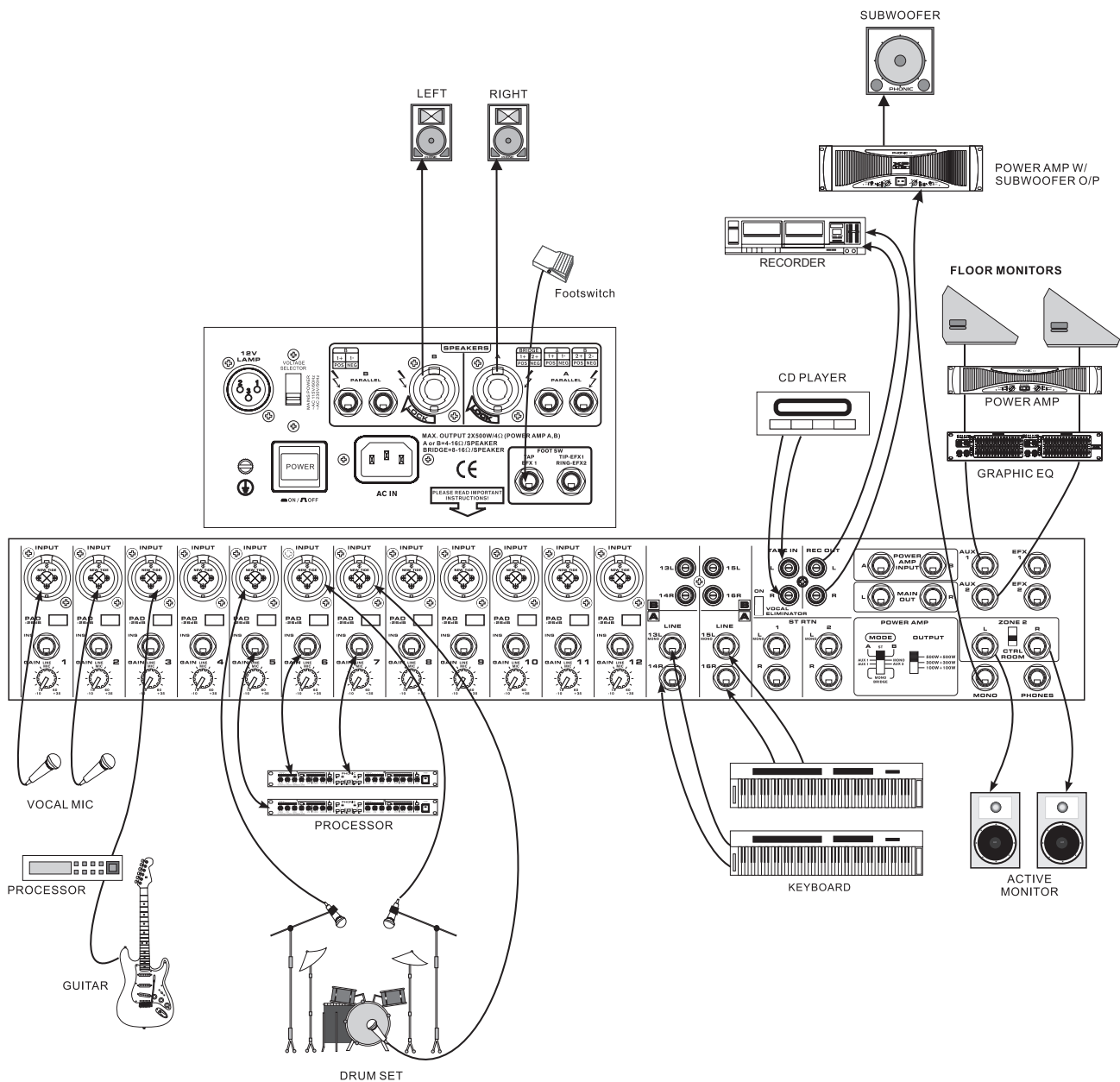
デジタルエフェクト一覧表

NO	PROGRAM NAME	PARAMETER SETTING	
	ROOM	REV-TIME	EARLY LEVEL
00	COMPACT ROOM 1	0.05	100
01	COMPACT ROOM 2	0.4	0
02	SMALL ROOM 1	0.45	100
03	SMALL ROOM 2	0.6	90
04	MID ROOM 1	0.9	100
05	MID ROOM 2	1	50
06	BIG ROOM 1	1.2	100
07	TUNNEL	3.85	100
	HALL	REV-TIME	EARLY LEVEL
08	JAZZ CLUB	0.9	90
09	SMALL HALL 1	1.5	72
10	SMALL HALL 2	1.75	85
11	SPRING HALL	1.9	98
12	MID HALL 1	2.3	100
13	MID HALL 2	2.45	80
14	RECITAL HALL	2.7	96
15	BIG HALL 2	3.3	88
	PLATE	REV-TIME	HPF
16	SMALL PLATE	0.9	0
17	TAIL PLATE	1.2	20
18	MID PLATE 1	1.3	0
19	MID PLATE 2	2.2	0
20	REVERSE PLATE	2.25	42
21	LONG PLATE 1	2.6	80
22	LONG PLATE 2	3	625
23	LONG PLATE 3	4.2	0
	DELAY-1(stereo)	DELAY AVERG.	R-LEVEL
24	SHORT DELAY 1	0.07	60
25	SHORT DELAY 2	0.14	60
26	PING PONG DELAY	0.11	55
27	MID DELAY 1	0.15	55
28	MID DELAY 1	0.3	60
29	SHORT DELAY 1 (MONO)	0.06	100
30	MID DELAY 1 (MONO)	0.13	100
31	LONG DELAY 1 (MONO)	0.18	100
	CHORUS	LFO	DEPTH
32	SOFT CHORUS	0.2	56
33	SOFT CHORUS 2	0.5	70
34	SOFT CHORUS 3	0.8	75
35	WARM CHORUS	1.8	85
36	WARMER CHORUS 1	3.2	80
37	WARMER CHORUS 2	5.2	45
38	WARMER CHORUS 3	7.8	52
39	HEAVY CHORUS	9.6	48
	FLANGER	LFO	DEPTH
40	CLASSIC FLANGER 1	0.1	44
41	CLASSIC FLANGER 2	0.3	63
42	GENTLE FLANGER	0.6	45
43	WARM FLANGER	1.6	60
44	MODERN FALANGER 1	2	85
45	MODERN FALANGER 2	2.8	80
46	DEEP FALANGER 1	4.6	75
47	DEEP FALANGER 2	10	60
	PHASER	LFO	DELAY
48	CLASSIC PHASER 1	0.1	3.6
49	CLASSIC PHASER 2	0.4	2.6
50	COOL PHASER	1.4	0.7
51	WARM PHASER	3.2	0.3
52	HEAVY PHASER 1	5	1.2
53	HEAVY PHASER 2	6	2.8
54	WILD PHASER 1	7.4	0.8
55	WILD PHASER 2	9.6	4.8

NO	PROGRAM NAME	PARAMETER SETTING	
	PAN	SPEED	TYPE
56	SLOW PAN	0.1	R->L
57	SLOW PAN 1	0.1	R<->L
58	SLOW PAN 2	0.4	R->L
59	MID SHIFT	0.8	R<->L
60	MID SHIFT 1	1.2	L->R
61	MID SHIFT 2	1.8	L->R
62	MID SHIFT 3	1.8	R->L
63	FAST MOVE	3.4	R<->L
	TREMOLO	SPEED	MODE-TYPE
64	LAZY TREMOLO	0.8	TRG
65	VINTAGE TREMOLO	1.5	TRG
66	WARM TREMOLO	2.8	TRG
67	WARM TREMOLO 1	4.6	TRG
68	HOT TREMOLO	6.8	TRG
69	HOT TREMOLO 1	9.6	TRG
70	CRAZY TREMOLO 1	15	TRG
71	CRAZY TREMOLO 2	20	TRG
	DELAY+REV	REV	DELAY-1
72	DELAY+REV 1	1	1
73	DELAY+REV 2	2	2
74	DELAY+REV 3	3	3
75	DELAY+REV 4	4	4
76	DELAY+REV 5	5	5
77	DELAY+REV 6	6	6
78	DELAY+REV 7	7	7
79	DELAY+REV 8	8	8
	CHORUS+REV	REV	CHORUS
80	CHORUS+REV 1	1	1
81	CHORUS+REV 2	2	2
82	CHORUS+REV 3	3	3
83	CHORUS+REV 4	4	4
84	CHORUS+REV 5	5	5
85	CHORUS+REV 6	6	6
86	CHORUS+REV 7	7	7
87	CHORUS+REV 8	8	8
	FLANGER+REV	REV	FLANGER
88	FLANGER+REV 1	1	1
89	FLANGER+REV 2	2	2
90	FLANGER+REV 3	3	3
91	FLANGER+REV 4	4	4
92	FLANGER+REV 5	5	5
93	FLANGER+REV 6	6	6
94	FLANGER+REV 7	7	7
95	FLANGER+REV 8	8	8
	GATED-REV	RELEASE	REV
96	GATED-REV-1 9	0.02	TAIL PLATE
97	GATED-REV-2 10	0.2	TAIL PLATE
98	GATED-REV-1 9	0.02	REVERSE PLATE
99	GATED-REV-2 10	0.5	REVERSE PLATE
	TAP DELAY	FB LEVEL	RANGE
A0	TAP DELAY	0	100mS - 2.7S
A1	TAP DELAY	10	100mS - 2.7S
A2	TAP DELAY	20	100mS - 2.7S
A3	TAP DELAY	30	100mS - 2.7S
A4	TAP DELAY	40	100mS - 2.7S
A5	TAP DELAY	50	100mS - 2.7S
A6	TAP DELAY	60	100mS - 2.7S
A7	TAP DELAY	70	100mS - 2.7S
A8	TAP DELAY	80	100mS - 2.7S
	TEST TONE	FREQUENCY	SHAPE
T0	LOW FREQUENCY	100Hz	SINEWAVE
T1	MID FREQUENCY	1kHz	SINEWAVE
T2	HIGH FREQUENCY	10kHz	SINEWAVE
PN	PINK NOISE	20Hz~20kHz	

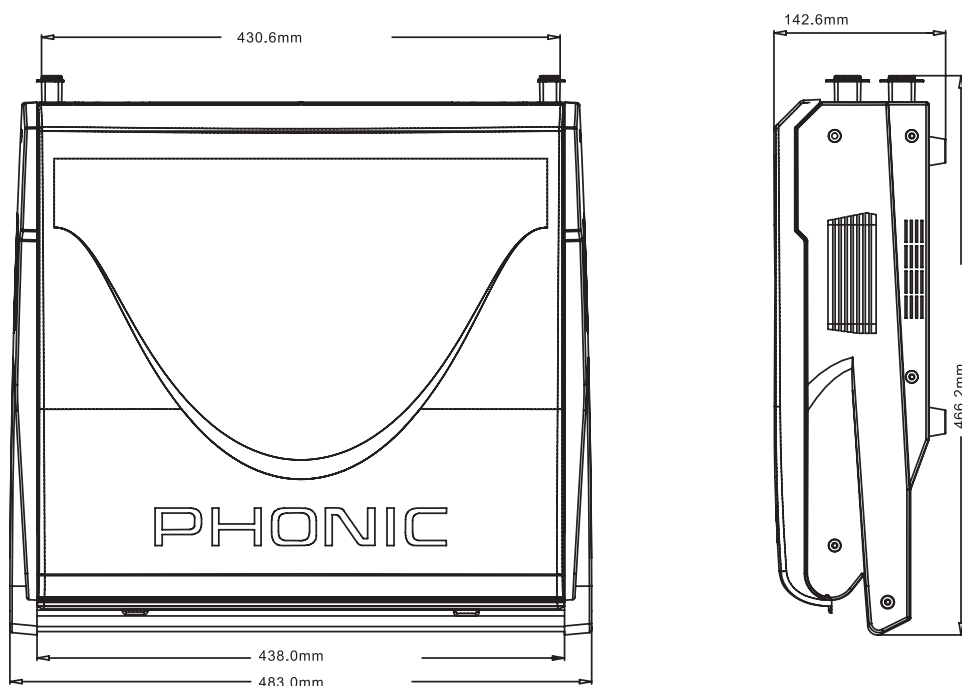
接続例



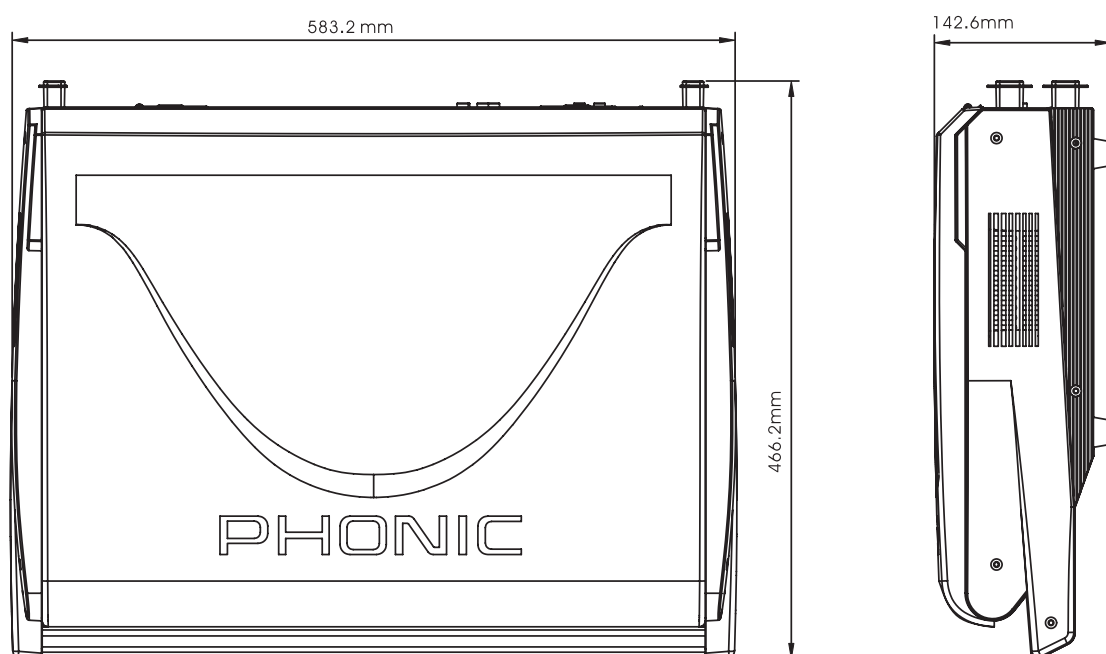


寸法

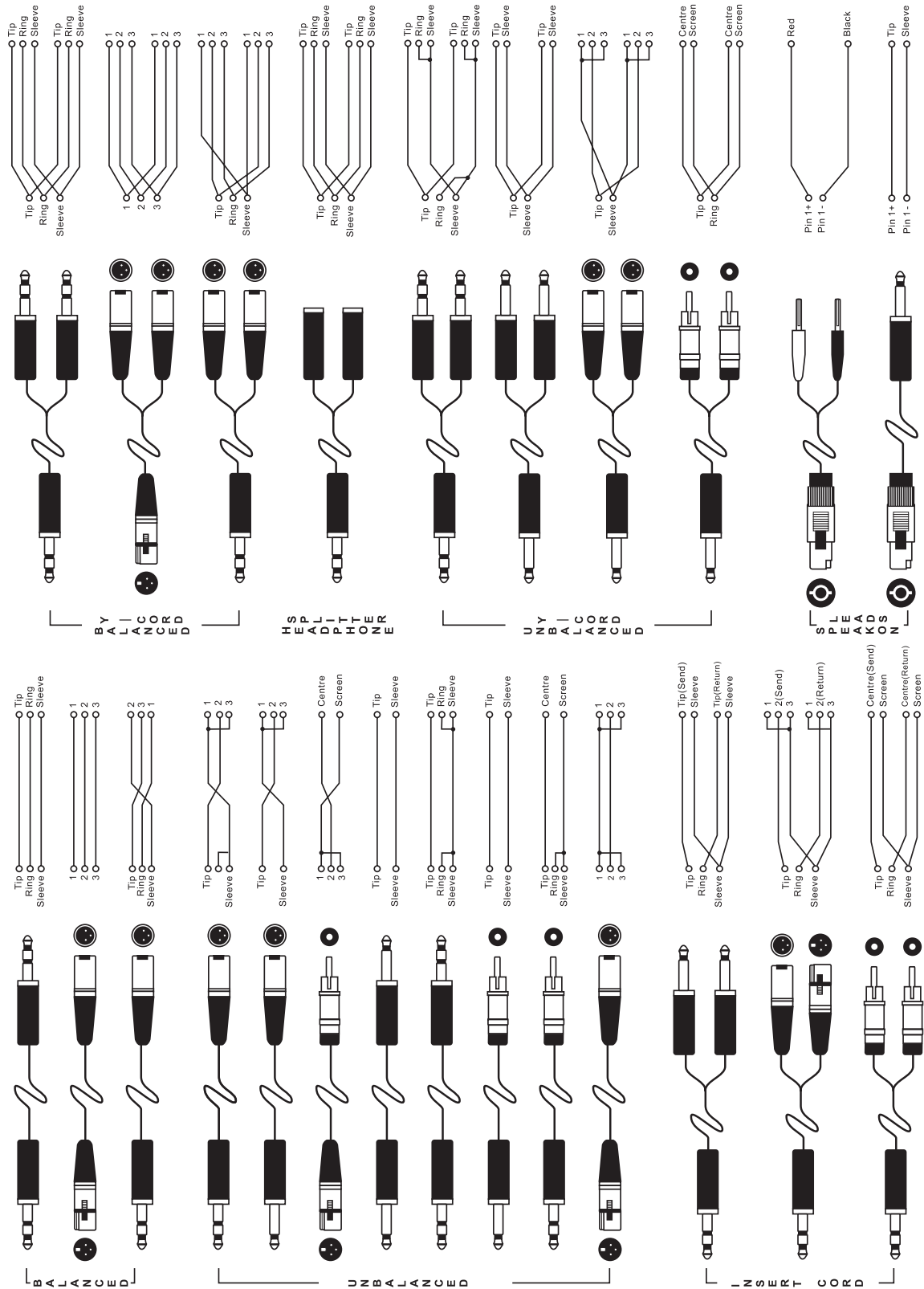
Powerpod K-12 Plus and Powerpod 1860 Plus



Powerpod K-16 Plus

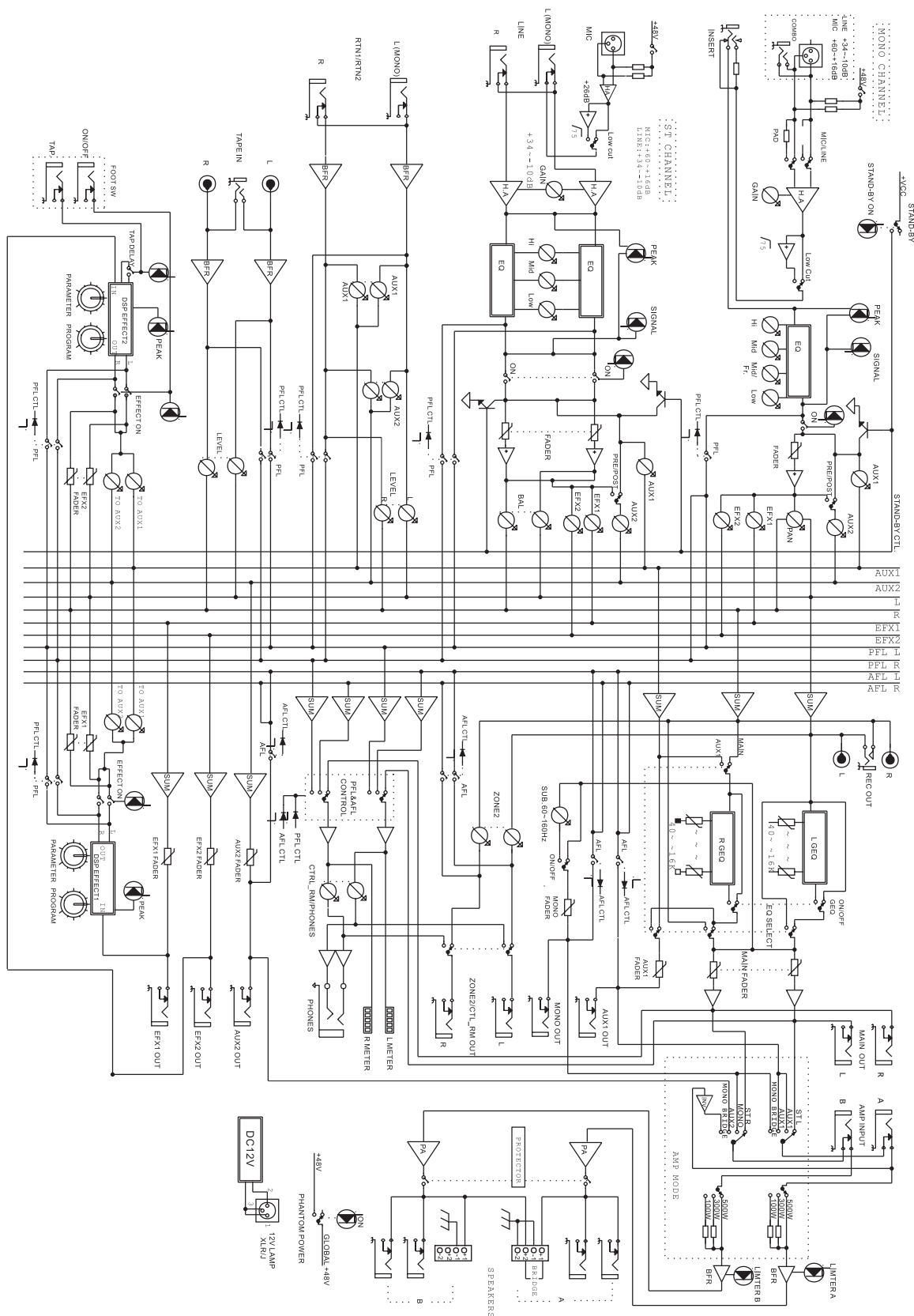


ケーブルタイプ

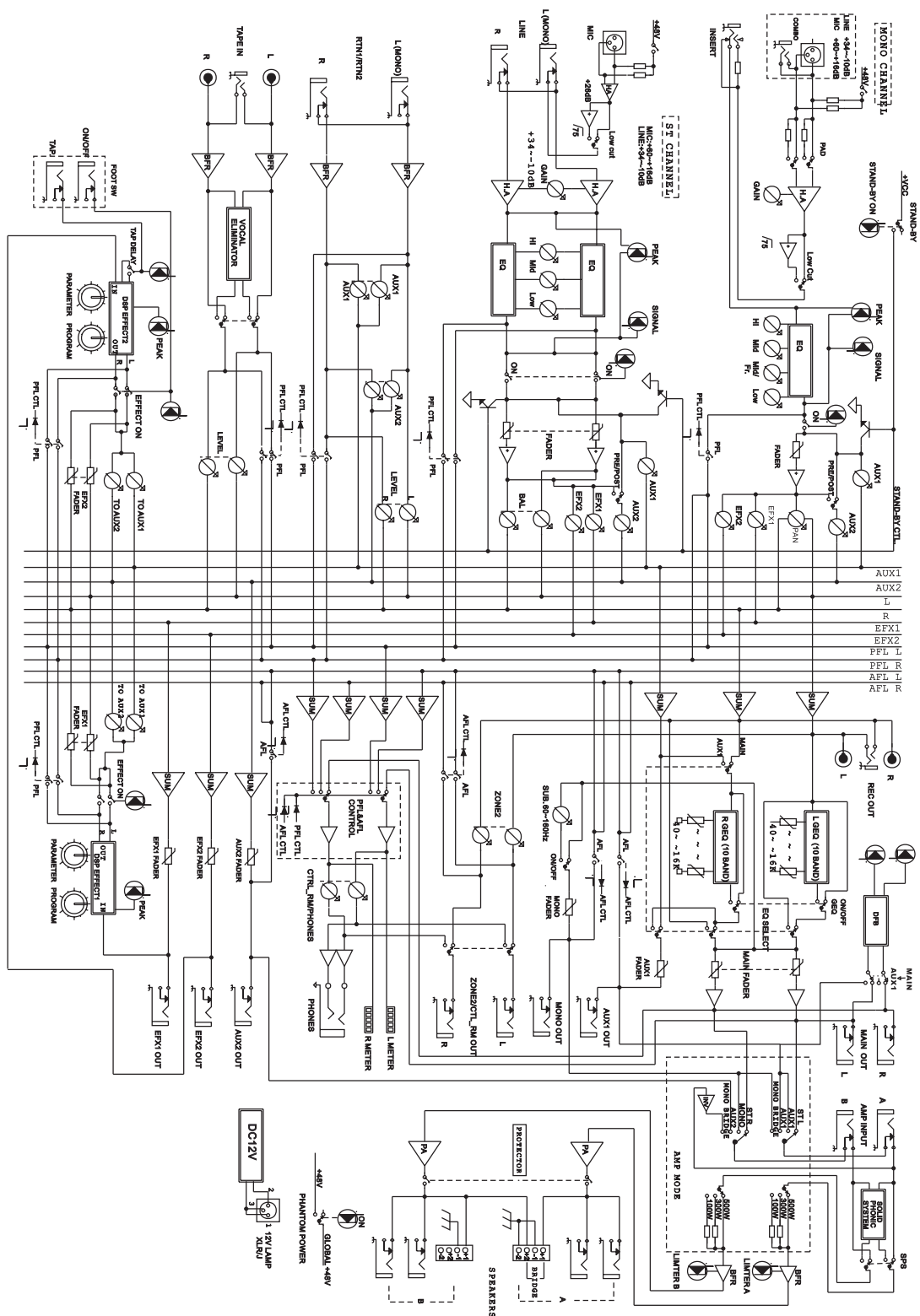


ダイアグラム

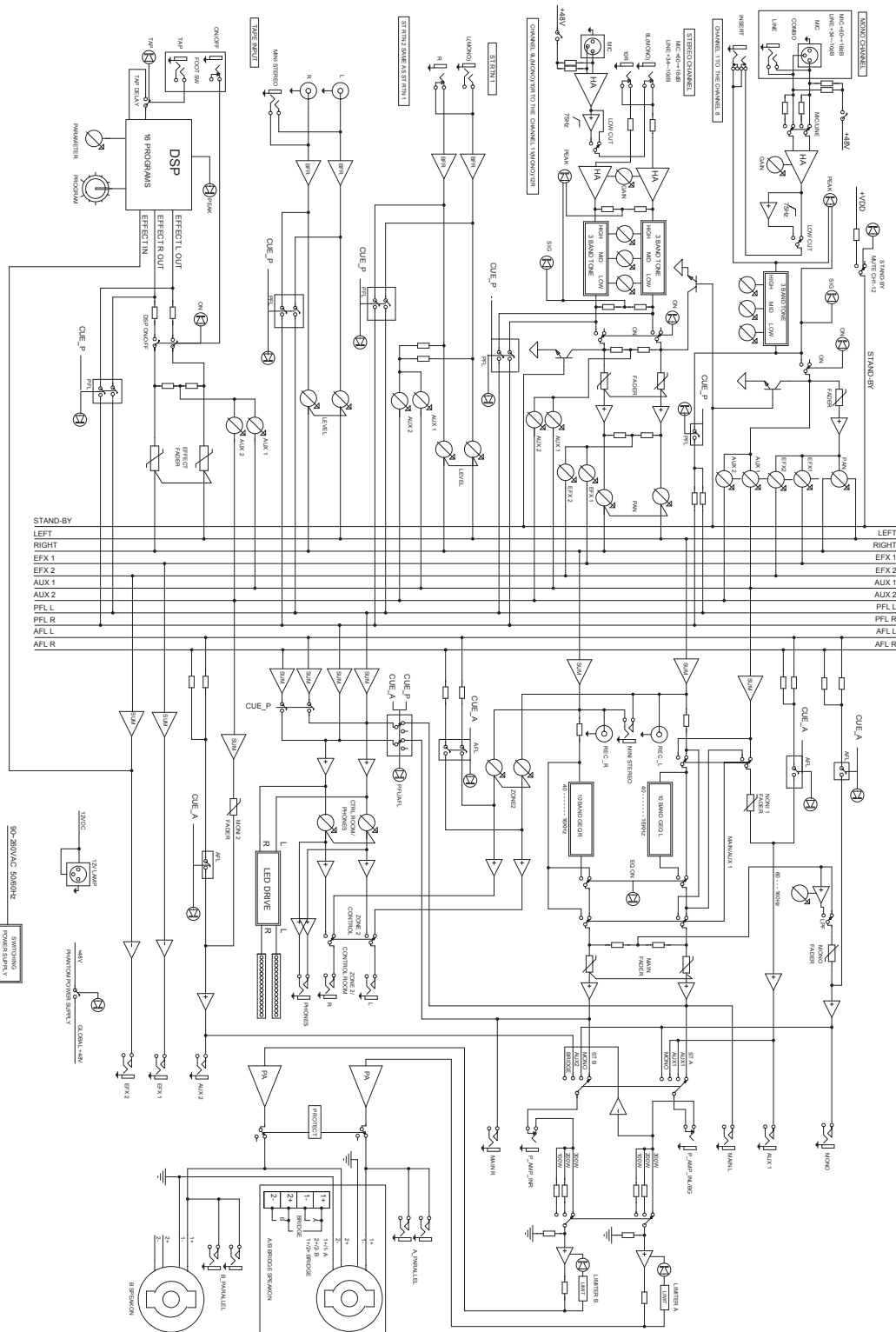
Powerpod K-12 Plus



Powerpod K-16 Plus



Powerpod 1860 Plus



PHONIC
WWW.PHONIC.COM



PHONIC 正規輸入代理店
株式会社 キョーリツコーポレーション
www.kcmusic.jp/